

- 苫東開発は、苫小牧東部開発新計画(H7)及び2期にわたる進め方(H9,H20)に基づき、関係機関等がそれぞれの役割分担の中で所要の施策を実施
 - 本「進め方」は、「苫小牧東部地域開発検討会※」での検討を踏まえ、進め方第2期における対象期間である「おおむね10年間」を経過した現在において苫東地域における開発需要に適切に対処できるよう策定
- ※事務局：国土交通省北海道局参事官／平成30年度実施

1 目的

- 地理的優位性や広大かつ自然環境に恵まれた空間をいかし、安全かつ高付加価値の産品を安定供給することで、アジア市場を始めとするグローバル市場の需要を取り組んでいく**産業群の形成**
- これまでの産業集積をいかした**幅広い産業開発**を進めるとともに、**新たな成長産業やプロジェクトの導入**に向けた各般の施策を展開するための取組の戦略的な推進

2 基本的方針

(1) 苫東地域の役割

- 苫東地域が日本と世界に貢献できる国際競争力のある基盤づくり
- 地域的・社会的課題の解決に資するフィールド
- 成長期待産業等の育成及び条件整備
- 北海道内外における災害に対する応急・復旧対策の拠点機能

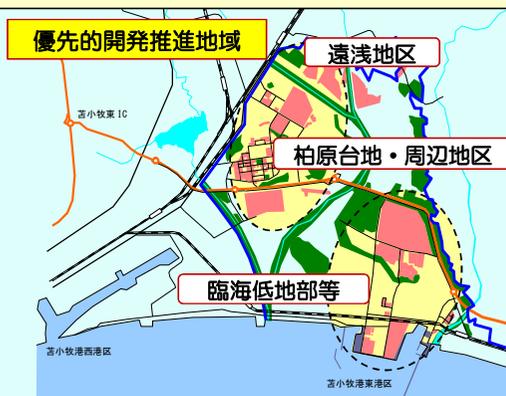
(2) 今後取り組む産業・プロジェクト及び周辺環境整備

- 「物流」、「エネルギー」、「情報」の優位性を重視した産業・プロジェクトの誘致
- ・重視する要素：地域産業の持続的発展、環境への配慮、人材不足・省力化

- 産業機能：自動車、リサイクル、食、漢方・医薬品、再エネ等
- 研究開発：積雪寒冷地での自動走行、ロボット・ドローンの実証実験等
- 基盤整備：国際競争力を高めるための物流ネットワーク機能の強化
- 環境保全：自然と共生した良好な環境の保全に十分配慮した開発

(3) 計画的な立地

- 計画的・効率的な産業・プロジェクトの立地
- ⇒ **優先的開発推進区域の設定**
- ・ 柏原台地・周辺地区
- ・ 遠浅地区
- ・ 臨海低地部等



3 展開方向

- **苫東地域の優位性等をいかした競争力の強化**
 - ・ 優位性(物流、エネルギー、情報)の強化、弾力的・機動的な土地の有効活用、北極海航路のアクセスポイントとしての優位性検討
- **既存の産業集積をいかした新たな食関連産業の創出**
 - ・ 道外や国外に向けた道産品の付加価値を高める健康食品、漢方・医薬品関連産業
- **環境との共生・エネルギーの有効活用による産業展開**
 - ・ 再生可能エネルギー関連産業(水素・燃料電池、地熱、バイオマス)
- **高齢化社会や担い手不足に対応した研究開発**
 - ・ 積雪寒冷地での自動走行、ロボット・ドローンの実証実験等
- **強靱な国土づくりに貢献する拠点の形成**
 - ・ 道内外との交通アクセスの利便性をいかした災害時の拠点形成(人員や資機材の派遣・受け入れ)、物流ルートの代替性確保
- **基盤整備**
 - ・ 港湾、道路、情報通信インフラ、上下水道、廃棄物処理施設等の苫東開発の展開に応じた整備、地震防災対策等の推進
- **展開に当たっての留意事項**
 - ・ 外資系・外国企業も視野に誘致方策を展開
 - ・ 環境への取組を重視する企業へのインセンティブの創出
 - ・ ロボット等の活用による省力化に対応した人材育成、安定的な人材確保

4 「進め方」の実施

- 関係機関の連携の一層の強化
- 社会経済状況の変化に応じた弾力的・機動的な対応
- 新たな展開が見込まれる産業・プロジェクトの推進・フォロー

5 対象期間

おおむね
10年間